平成19年３月１日　　りんせい　　第 392 号

林声

OKAYAMA

おかやま

№392.　2007.　3.　1

木の潤い空間整備事業（勝山高等学校）

目　次

○おかやま森づくり県民税事業
　の取組状況について …… 2
○普及情報 …… 4
○普及指導最前線 …… 5
○木材の利用促進 …… 6
○地域でがんばっている人 …… 6
○研究だより …… 7
○お知らせ …… 8
○林産物市況 …… 10

おかやま森づくり県民税事業の取組状況について

今回は、木材チップ利用の可能性を探るための実証研究を行う「地球にやさしい暗渠排水実証研究モデル事業」、間伐材を使用した河川根固工の試験施工を行う「エコ工法推進モデル事業」及び小学校や高等学校による森林・水の調査、交流等を行う「環境学習総合推進事業」について紹介します。

「地球にやさしい暗渠排水」実証研究モデル事業

岡山県では、昭和四十年代から水田を主体とした「ほ場整備」が行われ、平成十七年度末時点における整備率は約六割となっています。その多くは、ほ場整備に併せ地下水位を低下させ水田の汎用化を図るための地下排水施設、いわゆる「暗渠排水」が同時に施工されています。

一方、県内においては、間伐材の有効利用や、平成十六年の台風により発生した膨大な量の風倒木の処理は喫緊の課題となっています。

こうした中、耕地課では現在暗渠排水管の被覆材として入手が容易な砕石を用いていますが、環境にもやさしい循環型素材である木材チップ及び樹皮付チップの活用が可能かどうかを探る実証研究に着手しました。

本事業では、児島湾周辺の干拓地及び県北の中山間地の２地区（計〇・九ヘクタール）をモデルほ場とし、砕石及び各チップを被覆材とした暗渠を本年度中に設置し、設置時には、コスト面の比較を行うための歩掛調査（実際に工事に必要な経費の調査）を実施します。また、各被覆材の排水機能を比較するために、地下水位及び排水量の調査、木材チップの劣化状況調査を来年度まで行う予定であり、木材及び樹皮付チップは約二十七立方メートルを使用する予定です。

暗渠の施行状況

（耕地課　水利・ほ場整理班）

エコ工法推進モデル事業

環境問題への関心や自然との共生に対する認識が高まるなか、県土木部では平成十六年度から「エコ工法推進モデル事業」に取り組んでいます。

これは間伐材やゴミ焼却灰から作られるスラグを土木資材としてリサイクルするための試験施工を行うもので、数年間試験施工を行った後、本格導入を目指すものです。

このモデル事業の中で、河川課では間伐材の有効利用として河川の根固工の一つである木工沈床工について検討しています。

根固工とは河川の流水により護岸の基礎部分が洗堀されて護岸が不安定になることを防止するため、護岸の前に石を並べたりする工法で、昔は自然材料の木や石を使う木工沈床工が一般的な工法の一つでした。その後、コンクリート製の根固ブロックが使われるようになると、材料の確保や加工手間、経済性などから木工沈床工はあまり施工されなくなりました。

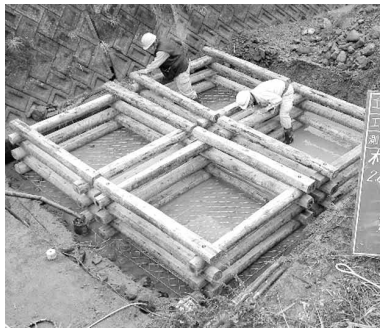
木材を河川護岸本体に利用することは耐久性や強度の面から困難ですが、常に水に浸かった状態の根固工では腐食しにくく耐久性も期待できることから木材の利用を検討しているものです。

まず、県内各地で候補地の選定を行い、平成十六年度は赤磐市、真庭市の各一箇所で、十七年度は瀬戸内市の一箇所で、十八年度は津山市の一箇所と真庭市の二箇所で試験施工を行っており、材料の入手しやすさや現地での施工性、及び耐久性等についてふとん籠等の根固工法との比較検証を行っています。

機能や効果を比較しその有効性が検証されれば、今後は河川工事の一般的な根固工法として木工沈床工の利用を拡大していく方針です。

河川工事においては、資源の有効活用の観点から、これまで工事発生土やコンクリート殻の有効活用に努めてきましたが、今回の間伐材の木工沈床工への利用の他、新たな木材利用の方策や、従来は廃棄処分していた粘性土の有効活

用についても検討することにしています。



平成18年度施工箇所
一級河川　宮川（津山市）

（土木部河川課治水班）

『環境学習総合推進事業』

「おかやま森と水の交流学習」

平成十八年度は、高梁川流域の倉敷市立乙島東小学校、倉敷市立川辺小学校、総社市立清音小学校高梁市立川面小学校、新見市立西方小学校、新見市立千屋小学校の六校の子どもたちが流域の森林や河川を学びの場として、交流学習に取り組んでいます。

源流探険や森林での活動などを通して水を生み出す不思議さやたくさんの命を育む森の豊かさにふれその大切さを実感しました。

また、人工林は手入れをしなければ下草が枯れてしまい、自然災害が起こりやすくなることを知り、枝打ちや間伐などの林業体験もしました。

そして、それらの体験や調べたことを実施校同士で交流し合ったり、エコサミットを開いて地域の人と話し合ったりしました。

今後は、六校が実施したことを冊子にまとめ、各校の森林学習の参考とするため、高梁川流域の全四年生に配付する予定です。

「エコハイスクールプロジェクト」

県立勝間田高校は、平成十六年度から本事業により森林保全の専門的な知識を身に付けた人材の育成や森林環境教育の場としての演習林の整備に取り組んでいます。

本年度は地域の小学校に加え、新たに吉井川下流域の和気町立山田小学校から四年生を迎えて交流学習を実施しました。樹木クイズラリー、吉井川源流の散策、記念植樹等、小学生、高校生の双方にとってとても実り多いものとなりました。また、演習林の整備も進め、遊歩道や道標の整備、ログハウス避難小屋の設置等を行いました。この避難小屋は生徒自らの手で整地からログの作製・設置までを行い、天狗岩・三十人ヶ仙への登山者の安全確保に大変役立つことと思います。

休憩舎にて

（教育庁指導課）

優良種菌で確かな収穫
もりのたねごま
◆シイタケ，ナメコ，ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。
製造総発売元　森産業株式会社
岡山営業所　岡山市辰巳46－104
TEL 岡山(086)805－7033㈹

コマツのグラップルレンタル機ラインナップ
〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1
コマツ中国㈱津山営業所
ＴＥＬ.（0868）28－2261

ベースマシン	PC45MR-1	PC78US-5	PC138US-2
機械質量	4.9ﾄﾝ	7.4ﾄﾝ	13.9ﾄﾝ
接地幅	1,960㎜	2,320㎜	2,490㎜
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185㎜	1,620㎜	1,910㎜
最小掴み径	105㎜	95㎜	80㎜
ウインチ	有	無	無

林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。
１日からでもお気軽にご利用下さい。
KOMATSU

普及情報

「３K作業道」

高密度路網整備による低コスト林業を進めるため、低コストで壊れにくい３K作業道の開設が重要となっています。

３K作業道とは、「高密度」で「簡易」で「恒久的」な作業道のことです。

機械がなるべく木に近づき、作業効率を上げるために、一ヘクタールあたりの路網延長が二〇〇メートル以上になるような高密路網が各地で作られています。

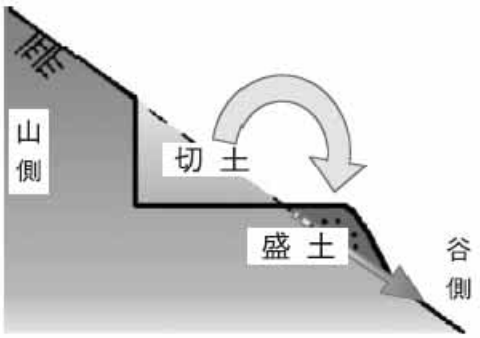
しかし、道を多く作ると、降雨による侵食や崩壊などの災害が増え、維持コストが増加します。

（独）森林総合研究所が、高密路網でも被害を受けず、永続的に使用されている事例に着目し、どのような工夫がされているのか調査した結果を紹介します。

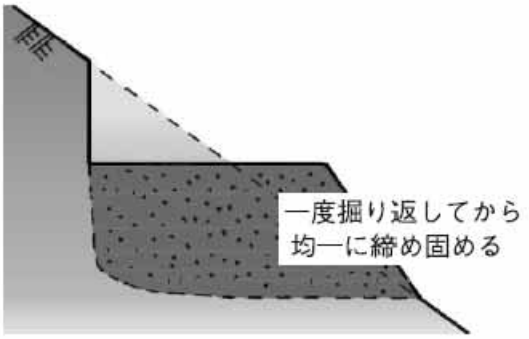
作業道は、切土と盛土によって作られる（図１参照）が、もとの斜面と盛土が一体化しておらず、路面が崩壊することがあります。

この調査地では、図２のように、切土部分の路体も掘り返しながら全体を強く締め固め、急傾斜地でも崩壊に強い道としています。

調査地における路面の締め固め程度を山側・谷側で比較してみると

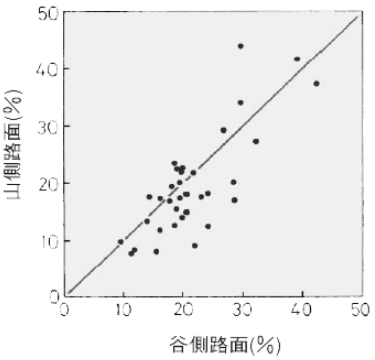


図－１



図－２

（図３参照）、同程度か、谷側の方がやや高い値になっています。



図－３

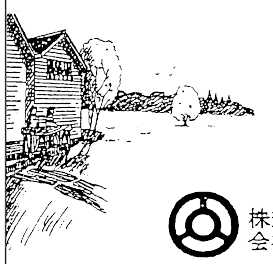
CBR（路床土支持力比）とは、路面の支持力を表す指標で、調査地のような土質では、締め固めるほど値が大きくなります。図１のような一般的な道の作りかたでは、CBR値はせいぜい一〇～二〇パーセント程度にしかならず、また、山側路面に比べて谷側の方が締め固め程度は小さくなります。

図３からは、締め固めがしっかりと、均一に行われていることがわかります。

また、盛土法面の締め固めに表層土を使用しているため、埋土種子の発芽や根株からの萌芽により短期間で法面が緑化され、侵食を防止していることが明らかになりました。

―引用文献　研究の森から（森林総合研究所）―

（林政課　林業普及指導員）



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社　〒703－8273　岡山市門田文化町２丁目11番51号
TEL(086) 272－2161　FAX(086) 272－2142
http://www.harenet.ne.jp/yamatoya
大阪営業所　津山営業所　水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材

防腐処理・住宅用プレカット資材

さんもく工業株式会社

〒702-8045　岡山県岡山市海岸通2丁目6番3号
TEL086-262-0137(代)　FAX086-262-0130

普及指導最前線

「市民ふるさとの森」がオープン

東備普及指導区

一　はじめに

平成十九年二月十八日、備前市吉永町加賀美地区において、里山の自然に親しみ、都市住民と地元住民が交流する憩いの場として備前市が整備していた「市民ふるさとの森」がオープンし、植樹祭が開催されたのでご紹介します。

二　内　容

備前市は、平成十七年度から三年間、環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」を実施するモデル地域の一つに選ばれ、十七年九月には、備前市、市民団体、森林・漁業組合、商工関係者の代表者で構成する「備前みどりのまほろば協議会」が事業実施団体として設置されました。

同協議会では、備前市森林組合などと協力し、地域の里山で切り出した薪を、市内の一般家庭や公共・民間施設へ導入した薪ストーブに供給するなど、化石燃料の使用を減らすことで地球の温暖化を防ぐとともに、数十年先を見通した里山の再生に取り組んでいます。

「市民ふるさとの森」は、この事業の啓発を図る拠点施設として整備（東屋、パーゴラ、イベント広場、駐車場など約一ヘクタール）されたものです。オープンを記念して開催された植樹祭では、地元児童ら百十五名が参加して、ソメイヨシノ、カイノキ、イロハモミジなどが植樹されました。

当普及指導区では、「市民ふるさとの森」の実行委員会に加わるとともに、林業普及指導員が整備計画から植樹内容に至るまで技術支援を行いました。

オープン記念の植樹祭

三　おわりに

里山を整備、再生することにより生産される薪などの木質バイオマスを利用して、地球温暖化防止に役立つこのような市民協働の事業を、今後とも支援していきたいと考えています。

（林業普及指導員　末永達也）

「新見美しい森」に本格的な炭窯が完成

新見普及指導区

一　はじめに

このたび、「新見美しい森」のエリア内に炭窯が設置されたので紹介します。

「新見美しい森」は、鳥取県境の高梁川最上流部にあたる千屋花見地区に位置し、中国山地の雄大な景観が望める区域面積約二六ヘクタールからなり、平成十二年にオープンしました。

二　内　容

平成十八年十一月、美しい森のビジターセンターに隣接した「まきばの森」の一角に、県単独事業（地方振興事業）により、本格的な黒炭用の炭窯一基が完成しました。

この地域は、古来より砂鉄を溶かして良質な鉄を造るタタラ製鉄が盛んで、その燃料として不可欠な炭焼きが盛んに行われていました。また、昭和三十年代までは、家庭用燃料として炭の需要が多かったが、燃料革命により炭の需要が少なくなるにつれて、現在では炭を焼く人も激減し、その技術を伝承する方法が途絶えてしまいました。

このため、この技術継承を目的として、地元からの要望にも応えるため補助事業を活用し、体験施設として伝統的な炭窯が設置されました。

今回、設置された炭窯の規模等は、幅が最大で二・四メートル、奥行き三・六メートル、最大高さ一・五メートルの小屋掛けで、事業費八〇万円、完成までに約四ヶ月を要しました。

窯の設置後、試験的に四回程度、炭焼きを行っていますが、一回当たり約二〇〇キロの良質な黒炭が生産できました。

新見美しい森内に設置された炭釜

三　おわりに

当普及指導区としては、設置された炭窯を森林学習等に有効活用し、地元の小・中学生はもとより高梁川流域の受益者である県南の方々に対し、水の大切さや森林保全に対する理解と協力を求めていきたいと考えています。

（林業普及指導員　木村正三）

木材の利用促進
「木づかい運動について」

「木の潤い空間整備事業」

この事業は、高校生自ら企画・提案し、県産材を活用した学校施設の整備を「おかやま森づくり県民税」を活用して行うもので、平成十八年度は、七校の応募の中から、七月に行われたプレゼンテーション等の選考により、西大寺高校と勝山高校の二校の提案が採択されました。

生徒たちは、応募に際し、森林保全や水源かん養等、森林の持つ公益的機能について現地調査するなどにより理解を深め、木の特性を生かした温かみと潤いのある居室改修の提案書をまとめました。採択後は、本設計に参画して自分たちの意見を反映させ、十二月に完成しました。予算は各校五〇〇万円。財源は、おかやま森づくり県民税を充てています。

「西大寺高校の整備概要」

国際情報科二年の五名のグループが中心となって、多目的教室を生徒・地域住民の交流の場、留学生等との国際交流の場として整備するもので、一角には、日本文化を紹介するための掘りごたつを設け、リラックスした雰囲気で交流が図れるよう工夫しています。

また、吉井川の源流や、風倒木災害復旧現場を調査するなど森林の現状を認識し、森の大切さを実感しました。

「勝山高校の整備概要」

リビングデザイン選択生徒・生徒会執行部の十三名のグループが中心となって、使われなくなった旧食堂を、憩いの空間としてミニコンサートや作品発表等の多目的に活用できる空間に改修するもので、太陽をイメージしたデザイン性のある壁面を地元の「美作の木」で表現するなど、随所に工夫やアイデアが見受けられます。

なお、建築家から木について学び、その知識は校内新聞を全校生徒に配布して共有しました。現在、昼食時には大変な賑わいとなってお弁当の花が咲いています。

西大寺高校

勝山高校

（教育庁　財務課）

地域でがんばっている人
「石井省三さん」

井笠普及指導区

今回は、井原市芳井町西三原在住の石井省三さんを紹介します。

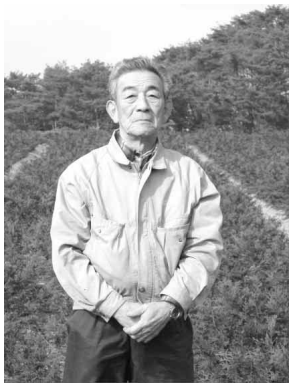
石井さんは、昭和五十年に造林用苗木の苗畑用地して自宅近くの山林を購入し、昭和五十五年からヒノキを主体とした苗木生産を行っており、現在の作付け面積は〇．五三ヘクタールと少ないものの、ヒノキを中心として一二六千本の苗木を生産しています。

優良苗木の生産のために育苗技術の研鑽を重ね、特に、苗畑の土壌管理や連作障害回避のため、休閑作物となるコンニャク芋や緑肥となるソルゴー等を積極的に取り入れています。

また、過疎化・高齢化により、雇用労働力の確保が難しくなる中で、床替機、根切機、堀取機等を早くから導入し、省力化を図るとともに、床替前の原苗管理に低温倉庫を利用した独自の技術により、活着率の向上を図っています。

このような努力の結果、昭和五十七年から六十二年の間には山林苗畑品評会で県種苗組合の理事長賞や県農林部長賞を受賞するとともに、平成十五年には、全国山林苗畑品評会で農林水産大臣賞を受賞するなど、県下でも優れた苗木生産者の一人となっています。

一方で、昭和六十一年から笠岡地区山林種苗組合の役員として地域の苗木生産の中核を担うとともに、平成五年には県苗組の理事にも就任して組合業務に携わり、組合員に優良苗木の生産のための指導と助言を行い、種苗生産の振興に貢献しています。



現在、石井さんは、平成十六年の台風二十三号の風倒木被害地の復旧に伴う苗木生産の割当て本数が急増している状況から、連作障害対策として苗畑に客土を行う新たな方法を考案して平成十八年から実施しており、今後もなお一層の活躍が期待されます。

（林業普及指導員　福島道雄）

研究だより

醍醐桜の劣化診断

岡山県木材加工技術センター
専門研究員　小玉泰義

醍醐桜は真庭市別所地区の西北、吉念寺集落のはずれにあります。この桜はヒガンザクラの一種、エドヒガンという種類で、目通り七・一メートル、根本周囲九・二メートル、枝張りは東西南北に二〇メートル、樹高一八メートルで県下一の巨木といわれています。古木のため樹幹の劣化があり、平成二年には樹木医の故山野忠彦氏により幹の修復が行われました。しかしながら、現在ではその修復から十七年の歳月を経たことや度重なる大型台風の襲来などにより再び樹幹の損傷が目立ってきました。醍醐桜は年間約二〇万人の観光客が訪れる県北の観光資源であり、その景観を維持することは地域振興にとっても重要なことです。

木材加工技術センターでは、県樹木医会（会長・原田照太氏）の協力を得て、平成十七年一月から醍醐桜の樹幹内部の劣化程度（腐朽、空洞の位置や大きさ）を定期的に調査してきました。

幹の劣化の程度を分かりやすく示すには、幹の断面の状態を図示する方法が最適です。

そこで私どもは樹幹の周囲を八等分した八つの各点の間を伝わる音の速さを測定し、医療用ＣＴで開発された計算手法を利用して図示する方法を用いました。

今までのＸ線を用いる装置は測定機器のセットに時間がかかるだけでなく、装置の製作や測定に関する経費も数千万円を要しますが、私どもが用いた方法は、手軽に持ち運べる大きさの機器を測定時に幹に押し当てるだけで済むため、測定作業が軽減されました。

また、測定装置の経費は数十万円程度と、費用対効果の面でも改善されました。

肝心の測定結果の精度ですが、醍醐桜そのものを使うわけにはいかないので、平成十六年の台風二十三号でやむなく伐倒した林業試験場内（勝央町）のココノエギリを用いて検証しました。

樹幹の音速分布を図化して実際の樹幹の横断面と比べてみました。

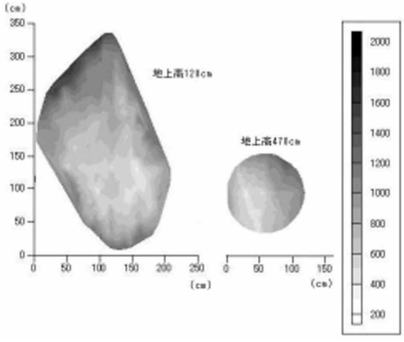
その結果、ココノエギリでは音速が三〇〇メートル／秒程度に低下すると腐朽による材の変色が始まります。さらに音速が二五〇メートル／秒まで低下した部分では空洞となっていました。

下図、左は醍醐桜の樹幹横断面における音速の分布を示しています。この図から、醍醐桜の樹幹の中で健全なサクラ材の音速を示している部分は幹の外周のわずかな部分であることが推察されます。

醍醐桜と同じ樹種で、腐朽があり伐採が可能な樹木が見つかれば、醍醐桜においても音速と腐朽の程度の対応関係をより正確に把握できるようになります。

今回用いた方法は作業性だけでなくコストの面からみても比較的手軽に検査できる方法と考えられます。銘木の検査だけでなく街路樹の維持管理等、幅広く市民生活の安全のために利用されることが期待されます。試験の詳細については、平成十六年度の木材加工技術センター業務報告書に記載してあるので、参考にしてください。

測　定　風　景



醍醐桜樹幹の音速分布（単位：m/s）

▼▼▼お知らせ▲▲▲

三月は山火事予防月間です

春は空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が大変起こりやすい季節です。山火事の原因はたき火の不始末やたばこの投げ捨てといった人の不注意によるものがほとんどです。

この時期の山火事は火の回りが早く、これまでにも大きな山火事が度々発生し、多くの森林が失われています。

平成十四年にタバコの火が原因で発生した総社市の山火事では、一度に六一ヘクタールの森林が失われました。また、平成十六年に火遊びが原因で発生した玉野市の山火事では、四〇ヘクタールもの森林が失われました。このわずか二件でマスカット球場約四〇個分の面積の森林が失われたことになります。

大切な森林が燃えるのは一瞬ですが、元どおりの姿に戻すためには、多くの費用と何十年もの長い年月が必要です。

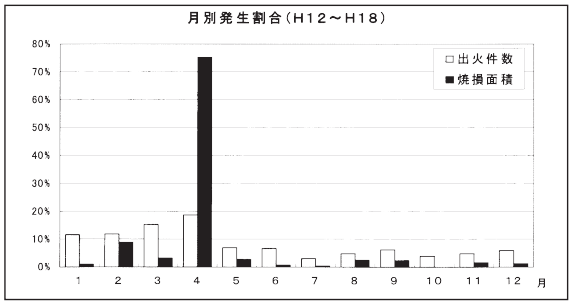
県ではこの三月を「山火事予防運動月間」として、「伝えたい森のやさしさ　火のこわさ」を統一標語に、市町村や消防署と協力して、重点的に山火事の予防を呼びかけています。

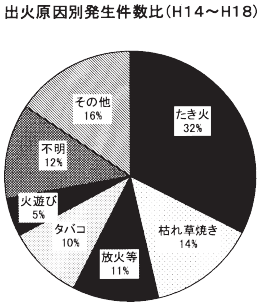
岡山県は全国的にみても、山火事が多く発生しています。

山での火の取扱いには細心の注意を払っていただき、空気が乾燥した日、風の強い日には特に気をつけてください。

また①タバコの投げ捨ては絶対にしない②火遊びをしない③たき火の後始末をしっかりする、こうした一人ひとりの心がけによって山火事を防ぐことができます。

大切な森林を皆さんの力で未来へと引き継ぎましょう。





（治山課　造林班）

十名の「林業作業士」が誕生しました

岡山県林業労働力確保支援センターでは、森林・林業の基盤となる中核的担い手を育成するための、「林業作業士育成研修」を本年も六期・四十四日間にわたり行いました。

この研修は、昭和六十一年度から実施され、昨年度までに二百五名の林業作業士が認定されており、県下各地域で活躍しています。

一般的な林業知識から、林業労働安全、造林保育、林道・作業道など広範囲にわたる課程の研修と、小型移動式クレーン（九名）、小型車両系建設機械（七名）、林業架線（三名）、はい作業（七名）、フォークリフト（七名）等の林業に携わるに必要な各種資格を取得しました。

今後は、これらの研修をもとに、地域林業の益々の発展のため先輩方と共に頑張って頂くよう期待しています。

（林業労働力確保支援センター）

「岡山県林業試験場研究発表会」を開催しました

岡山県林業試験場では、二月十五日、研修棟「森の館」で、県内の林家や森林づくりの会員等八十人を迎え研究発表会を開催しました。

発表は、樹種・林齢・面積を入力するだけで伐採収支が計算できる「簡易な伐採収支の予測方法について」、マツノマダラカミキリの天敵昆虫であるサビマダラオオホソカタムシを用いた「松くい虫防除の天敵利用について」、省力的な施業により県木アカマツの復活に役立てる「アカマツ林の省力的造成方法について」、網目の小さいネットを利用してきのこ栽培に役立てる「きのこ栽培の防虫技術について」、甘く、渋皮の剥きやすい中国栗を紹介した「栗の新品種について」の五課題でした。

参加者から熱心に質問・意見が寄せられました。

（林業試験場　業務部）

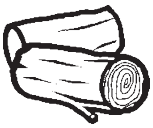
森林林業関係イベント参加者募集中

開催日時	開催場所	イベントの名称・内容	問い合わせ・申し込み先
H19.3.3（土） 10：00～	おおかやま共生の森・川上 （高梁市川上町高山市）	保育のつどい 枝打ち　等	ＮＰＯ法人ふれあいの里・高梁 〒716－0038　高梁市浜町1285－１ TEL：0866－22－1000 FAX：0866－22－1741
H19.3.10（土） 10：30～12：30	真備美しい森 （倉敷市真備町市場）	家族の森づくり 植樹のつどい 竹工作教室 シイタケ植菌体験	倉敷地域美しい森づくりの会事務局 〒710－8530　倉敷市羽島1083 備中県民局森林課内（藤井、井上） TEL：086－434－7061
H19.3.11（日） ９：30～	長船美しい森 （瀬戸内市長船町磯上）	家族の森づくり 植樹のつどい	岡山地域美しい森づくりの会事務局 〒700－8604　岡山市弓之町６－１ 備前県民局森林課内 TEL：086－233－9833
H19.3.18（日） ９：00～12：30	欅の杜 （井原市門田町）	欅の杜塾 第83回杜の市 特産品の販売等	欅の杜塾会長藤井直彦 〒715－2111　井原市門田町3892 TEL：0866－62－5685
H19.4.7（土） 8（日） 10：00～16：00	井原駅前通り （井原市七日市町）	井原市産業祭り 木工教室 （４月７日実施予定）	井原市商工観光課 〒715－0014　井原市七日市町10 TEL：0866－62－8850
H19.4.15（日） ９：00～12：30	欅の杜 （井原市門田町）	欅の杜塾 第84回杜の市 特産品の販売等	欅の杜塾会長藤井直彦 〒715－2111　井原市門田町3892 TEL：0866－62－5685

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う
美津吉商事株式会社
津山市一方 194　〒708-0883　TEL(0868)23-2255
http://www.mitsuyoshi.com/

緑化用種苗器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工
株式会社 菁芳園
岡山市東古松２丁目10-28
電　話　２２２－４０３８

日本産原木しいたけ栽培を応援します
品質の信用が第一です
財団法人 日本きのこセンター
安心　本物
〈本　　部〉鳥取市富安１丁目８４番地　電話　0857－22－6161
〈鳥取駐在〉鳥取市古郡家２１１番地　電話　0857－51－8132



林産物市況

木　材（２月17日）

単位：千円／㎥

樹種	長さ	径級	直	材	小曲り	概況
杉	３ｍ	７～13	230	－	本120	－	出荷材積 約1,300㎥
		14細	7	－	本120	－	
		14～16	13	－	10	－	
		18～20	13	－	10	－	杉
	４ｍ	７～12	本280	－	本180	－	中目材　横ばい
		18～22	11	－	7	－	柱　材　横ばい
		24～28	11	－	8	－	小径木　横ばい
	６ｍ	18～20	15	－	10	－	
桧	３ｍ	７～10	本200	▼	本120	－	
		11～13	本400	－	本120	－	
		14細	18	▼	6	－	桧
		14～16	24	▼	21	▼	中目材　弱含み
		18～20	25	－	21	▼	柱　材　弱含み
		22～24	22	－	17	▼	小径木　弱含み
		26㎝上	22	－	17	▼	
	４ｍ	７～13	本270	▼	本180	－	
		14㎝	24	▼	20	－	
		16～18	28	－	24	▼	
		20～22	21	▼	16	▼	
		24～28	21	▼	16	▼	
		30㎝上	25	－	20	－	記号
	６ｍ	14㎝	23	▼	18	▼	△　強気配
		16㎝	37	－	32	▼	－　横ばい
		18～20	35	▼	32	▼	▼　弱気配
		22㎝上	23	－	20	－	
松	３ｍ	18～24	8	－	5	－	
	４ｍ	24～30	12	－	7	－	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

乾しいたけ（10月20日）

- 出品数量　5.0ｔ
- 価格高値　5,550円
- 安　　値　300円
- 総 平 均　3,200円

銘柄	価格 平均	価格 高値	相場
香信大	5,120	5,550	◎
香信中	4,080	5,300	○
香信小	3,200	4,200	○
小間	－	－	－
香信山成	3,190	3,460	○
バレ大	3,270	5,220	○
バレ中	2,870	4,330	○
スライス	1,750	4,390	△
花どんこ	－	－	－
上どんこ	5,500	5,500	◎
並どんこ	4,090	5,020	○
並並どんこ	2,960	4,600	○
小玉どんこ	970	1,860	□
山成どんこ	2,670	2,900	○
こうこ	3,860	5,390	□
格外	2,450	3,410	△

価格：円／kg
（相場）
強：◎　保合：○　弱保合：□　弱：△
資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

製　材（２月中旬）

樹種	寸法	等級	区分	安値～高値
スギ	正角３ｍ　10.5㎝角	特等	G	30,000～35,000
		特等	K	45,000～55,000
	正角３ｍ　12㎝角	特等	G	30,000～35,000
		特等	K	45,000～55,000
ヒノキ	正角３ｍ　10.5㎝角	特等	K	70,000～75,000
	正角３ｍ　12㎝角	特等	K	70,000～75,000
マツ	平角４ｍ　10.5～12㎝×15～18㎝	一等	G	35,000～40,000 KD60,000～65,000
米マツ	正角３ｍ、４ｍ　10.5㎝角	特等	G	48,000～51,000
	平角３ｍ、４ｍ　10.5×15～21㎝	特等	G	48,000～51,000
北洋アカマツ	タルキ４ｍ　3.8㎝角	特等	G	58,000～60,000
ホワイトウッド	間柱３ｍ　2.7㎝×10.5㎝	特等	K	56,000～59,000

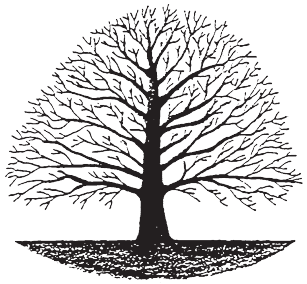
注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

「緑の募金」
ご協力をお願いします
募金期間
春のみどりの月間：4月1日～5月31日
秋のみどりの月間：10月1日～10月31日
緑の募金で
ふせごう地球温暖化
21世紀は森林の世紀
（社）岡山県緑化推進協会
岡山市錦町１－８　TEL･FAX (086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります
水を活かす FOREST
株式会社 フォレスト
〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計
森林整備の総合計画
治山・林道に係る用地測量
公共事業に係る保安林業務



社団法人 岡山県治山林道協会

本所　〒703-8233 岡山市高屋225－１
TEL（086）271－3711
FAX（086）271－3773
支所　〒708-0013 津山市二宮1849－２
TEL（0868）28－9360
FAX（0868）28－9363

―― 安全・人と自然・調和 ――

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤　　〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
〔樹皮食い防止に〕バークガード　　〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
〔樹幹注入剤〕センチュリーエース
（お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ）

販売元：原岸株式会社　　大同商事㈱大阪営業所
TEL：086－465－7136　　TEL：06－6231－2819

サンケイ の松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）が出来る
スミパイン® 乳剤

伐倒木用くん蒸処理剤
キルパー®

樹幹注入剤 グリンガード®・エイト
メガトップ® 液剤

伐倒駆除剤
パインサイド® S油剤C,D

お問合せは　県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社
大阪営業所
大阪市淀川区西中島4丁目5番地1号 新栄ビル ☎(06)6305-5871

林声　平成十九年三月一日（三九二号）
編集　岡山県庁林政課内
発行人　岡山県林業改良普及協会

請負業者
賠償責任保険
共栄火災

危険な伐採作業のための
安心のパートナーです

安心と信頼をお届けします。

株式会社　ケンモリ

（岡山県森林組合連合会　出資会社）

〒700－0866　岡山市岡南町２丁目５番10号
（ＴＥＬ）086－224－7343
（ＦＡＸ）086－224－2655

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

「岡山県エコ製品」の認定を受けた５品目
間伐材や古紙を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
東中国支店／津山市高尾573-1　TEL（0868）28-0256
岡山営業所／岡山市横井上1328-2　TEL（086）294-1000

“ 備えあれば憂いなし”
森林国営保険

加入できる森林は　人工林であれば、樹種、樹齢、面積など制限なく加入できます。

加入期間は　１年単位でいつからでもご希望の年数を加入できます。

保険金が出るのは　契約された森林が火災、風害、水害、雪害、干害、凍害などにより損害が出たときに、森林所有者に保険金が支払われます。

★森林国営保険についてのご相談は
もよりの市町村、森林組合または県民局・支局森林課の窓口へどうぞ。

● 岡山県農林水産部治山課　電話番号 086(224)2111（代表）
086(226)7455（直通）

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています